

## 平成21年奈良県地価調査 結果概要

本県の地価は、景気の悪化に伴う需要の減退により、全用途(林地除く。)の対前年平均変動率が▲3.3%(昨年0.1%の下落)となり、下落幅が拡大した。

### 〈住宅地〉

- 平均では、▲3.3%(昨年0.0%で横ばい)となり、平成18年以来3年ぶりの下落となった。
- 全ての調査地点(177地点)で下落となっている。
- 県北西部の大和平野地域では昨年の上昇傾向から一転して、概ね3~5%の下落となり、特に、駅接近性等利便性の劣る地点で比較的高い下落率となっている。
- 県東部・南部地域の大阪都心部への交通アクセスの面で劣る地域は、概ね1~3%の下落となり、昨年とほぼ同様の下落幅が継続している。

### 〈商業地〉

- 平均では、▲3.7%(昨年0.2%の上昇)となり、昨年までの2年連続の上昇から下落に転じた。
- 全ての調査地点(42地点)で下落となっている。
- 旧来の駅前商店街等繁華性の劣る地点で比較的高い下落率となっている。